



高校バスケットボール班は、男女とも同じ理念を共有し、それぞれの個性を大切に活動しています。それは「楽しくて、強い附属のニコニコバスケットです」。附属のベースに流れる自由を班活動の場で実践します。一人一人の個性を豊かに育み、チームとしても成長していきます。年間の大きな流れは以下のようになります。

月にはⅢ年生の集大成となる広島県高等学校高校総体バスケットボールの部広島地区予選会が開催されます。それを勝ち抜いて 月の県総体を目指します。

月には、高校 年生大会が開催されます。同じ学年のチームが対戦します。

月には合宿（千代田運動公園）を実施し、 月の協力の下、保護者の皆さんのサポートをいただき、充実した 日間を経験します。この間の成長は目を見張るものがあります。

月下旬から 月上旬にかけて広島県高等学校バスケットボール秋季大会が開催されます。所謂ウィンターカップの県予選に当たります。

月から 月にかけて広島県高校バスケットボール新人大会広島地区予選が開催されます。 月上旬に開催される広島県高校バスケットボール新人大会を目指します。

月には広島地区バスケットボール錬成大会が開催され、翌年度の地区総体に向けての最終調整を行います。そして、総体予選に向けて総合的なチームの力を充実させていきます。

バスケット班は現役の班員、 月の保護者、顧問のつながりの中で存在し、成長しています。 月と 月には 月の会を開催します。多くの卒業生が集まります。 年には 有余年に及ぶバスケットボール班の歴史をまとめた『広島大学附属高等学校籠球班記念誌』を刊行しました。日々の活動の記録、第 回卒（ 年）から 回卒（ 年）までの班員名簿や写真・手記などを収録しています。現在はその増補版『広島大学附属高等学校籠球班記念誌Ⅱ』を制作中です。

